

【目次】

はじめに

第一部

- 一 散歩道で
- 二 初対面
- 三 来客対応と発想転換
- 四 追想、追想、追想
- 五 草稿成る
- 六 退職そして帰京
- 七 思惑の程度
- 八 帰京の挨拶へ
- 九 夏目家へ、夕刻時に
- 十 希望の路
- 十一 猫だけが察知した黙約
- 十二 主人も奔る
- 十三 新作への美風
- 十四 情熱と誓い
- 十五 影響受け十六 神保町の書店にて
- 十七 気色
- 十八 心のコラボレーション
- 十九 二人の船出

第二部

- 一 旅の端から
- 二 紀行文ことはじめ
- 三 「猫の俳味」と夏目からの手紙
- 四 挿画に負けず
- 五 文芸山脈の口
- 六 造本へ
- 七 印刷所にて
- 八 豊かな人生への疎通
- 九 熟していく人生
- 十 別れ
- 十一 翻訳は思い出と共に

おわりに

あとがき

参考文献